令和７年度 第４回庄内町振興審議会【会議録】

日　時：令和７年６月 18 日(金)19:00～20:45
場　所：庄内町役場Ｂ棟 2F 会議室２

出席者：門松秀樹会長、佐藤道子職務代理、梅木均委員、秋葉正一委員、大滝敬一委員、川井利光委員、渡部幸雄委員、渡部菜穂子委員、阿良直美委員、齋藤吉昭委員
（事務局）樋渡企画情報課長、我妻企画情報課長補佐、加藤主査
欠席者：斎藤克行委員、渡會正委員、

１　開　会　19:00 樋渡企画情報課長（進行）

２　会長あいさつ
前回に引き続いての答申（案）についての協議となる。前回、結論付けに至らなかった少子化や人口減少の問題などもあるが、本日の審議で答申という形にまとめたい。

３　協　議
(1)　第３次庄内町総合計画に係る答申について
【委員】「チーム庄内町」以下の案①と案②のどちらがいいか検討すればいいのか。
【会長】事務局案以外にも、意見等があれば発言をお願いしたい。
【委員】案１でいい。人口減少は避けられない現実で、人口減少に歯止めをかけることは難しいと思われる。まずは人口減少を見据えたコンパクトシティと表した方がいい。
【委員】案１に賛成するが、コンパクトシティとすると町中に集中してしまうイメージとなるのが懸念される。周辺地域に住む人をないがしろにするような意味にも捉えられる。
【委員】案１、案２のどちらでもいいが、案２の魅力ある地域づくりで、「若者や子育て世代の定住促進に向けた取り組みを進め」というのは、力を入れなければならない大切な表現であり、組み込んでほしい。
【委員】案１でいいが、「多様な魅力」と一言とされたことが残念である。「魅力のある地域づくり…」という表現は必要と思う。交通アクセスを充実させ、コンパクトシティを実現してほしい。コンパクトシティという言葉は使ってほしい。
【委員】案１でいい。その内容で「みんなが同じ目標を共有し、共に歩む」という表現はいい。ただ、この表現だと目標の評価ができないわけなので、目標を入れた方が、評価できるので、目標を入れることは必要である。
【事務局】今回の答申案については、前段の文章は残し（　）書きの３つのうちどの内容とすべきかを議論いただきたい。「みんなが同じ目標を共有し、共に歩む」という内容を入れる場所により多少意味合いが異なる。補足となるが、コンパクトシティという言葉

から受ける印象として、すべてが町の中心部というイメージを持たれる可能性はある。本来はそういう意味だけではないが、誤解を招く可能性があることは意見を聞いて感じたところである。

【会長】コンパクトシティが切り捨てのイメージとなったのは、東西ドイツの経済状況の中で、状況の良い西ドイツに移すということからそのようなイメージがついたのでは。例えば、拠点を公共バスやモノレールでつなぐことや、富山市が実践している団子と串のシステムが日本での成功例、モデルケースといえる。2000 年代半ばで実践している。

【委員】コンパクトシティは時代の流れで仕方はないが、若い人たちは便利で施設が整い、サービスのいいところに住む。学校の統廃合にしても地域感情がある。中心部から地域にサービスが流れることが、人口減少の歯止めになるのではないかと思う。今の段階でこのコンパクトシティの表現は、適切ではないと考える。

【委員】少子高齢化が進む中でのまちづくりは必要だが、コンパクトシティという表現が与える印象がそれぞれであるように感じる。コンパクトシティという表現では、コアを充実させるという考え方と取られかねない。コンパクトシティという言葉は削除したほうがいい。

【委員】コンパクトシティという文言が与える印象が違うので、他も文言で適切な表現としてほしい。

【会長】コンパクトシティの概念は、消滅可能性都市の報告に対する対策として出てきたものである。ここ数年の国の政策としても、コンパクトシティ化を進めているところもある。しかしながら、この概念を知らない人には、中心部のみを残すというような印象を受けることが多いと思う。委員の皆様の意見等を勘案すると、新たなコンセプトの中にコンパクトシティも含まれることから、コンパクトシティという言葉を外してはどうかということ、「魅力ある地域づくり」や「若者・子育て世代の定住促進のための取組を進める」という文言について、案 2 の人口減少に歯止めをかけることを最重要課題の一つというところに入れ、「生み育てたい町として、次世代に選ばれる環境を整えることが重要である。魅力ある地域づくりや若者・子育て世代の定住促進に向けた取り組みを進め、この計画が」としてはいかがか。

【委員】コンパクトシティという言葉を使わないとしても、人口減少を見据えたという言葉は残してほしい。

【委員】コンパクトシティという言葉を使わなくても、人口減少を見据えたという言葉を残し、魅力ある地域づくりや若者子育て世代の定住促進に向けた取り組みを進めるという言葉を入れていただければいいと思う。

【会長】総括的事項に関しては、「人口減少を見据えた」という言葉は残し、「コンパクトシティ」という言葉は外し、「魅力ある地域づくりや若者子育て世代の定住促進に向けた取り組みを進める」という文言を入れるという形で修正することとしたいが、それでよろしいか。

(「異議なし」)

【会長】続いて、総務文教厚生分野について、意見等があればお願いしたい。

【委員】(3)の「進展する」という言葉はいい意味に使われる印象なので、人口減少などに使うのは違和感がある。

【事務局】国やマスコミでも、人口減少に対して進展と使っている。

【委員】「進む」ではどうか。

【会長】「進む」に修正してよろしいか。

(「全員賛成」)

【会長】(6)について、長距離・長時間「の」を入れるべき。

【委員】(2)に水稲とあるが、産業建設分野でないか。

【会長】環境に関する内容であり総務文教厚生にいれている。

【委員】答申の順番が入れ替わったのはなぜか。

【会長】基本計画の施策分野や内容の順番に入れ替えたものである。

【会長】続いて、産業建設分野について、意見等があればお願いしたい。

【委員】(2)の専門家とはどのような人たちか。

【事務局】総合計画のヒアリングの中の発言から含めたものである。

【委員】第三者から意見をいただくことが大切という意味であり適当でなければ修正いただきたい。

【委員】課題に応じた専門家という意味でいいのではないか。

【委員】その他になるが「短い言葉」という表現は適当か。

【委員】短くてわかりやすいのは必要である。長い文章とせず、簡潔にインパクトのある言葉は大切である。

【会長】「簡潔でわかりやすい言葉」としていかがか。

(「全員賛成」)

【会長】他に意見等がないようであれば、意見を踏まえて修正を行い、答申書としてまとめていきたい。修正内容については、事務局その間で調整させていただき、最終的な答申書を作成するということでよろしいか。

(「異議なし」)

【委員】総務文教厚生分野の(4)について、「介護ニーズ」とあるが、在宅でケアしている人はどうなるのか。

【事務局】サービスを利用する介護もあれば、在宅で家族が介護することもある。

【委員】介護が必要でなくても、高齢者など生活の中で支援が必要な場合はある。

【委員】介護にまでいかなくても支援ニーズに行政が手を差し伸べる必要がある。

【会長】「介護をはじめ、様々なニーズに柔軟に対応し」に修正することでいかがか。

(「全員賛成」)

(2)　その他

【委員】4 月 22 日、23 日の小中学校統合の説明会（立川会場）に出席したが、説明というより報告会でありいい雰囲気でなかった。候補が 4 つに絞られた時点で説明会があれば住民感情も違ったと思う。決定事項を報告するといった町の説明会のあり方に疑問をもった。住民が考える、選択できる時間を持てる説明会であってほしい。パブコメの実施で説明責任を果たしたということのないようにしてほしい。

【事務局】今後の進め方への意見として受け止めたい。

【委員】6 月 25 日と 27 日の説明会について周知してほしいとあったが、どのようにお知らせしているのか。また、合併 20 周年記念の一般チケットについて、総務課に整理券を取りに行くことが難しいという方もいた。取りに行かなくともよい方法があればよかった。

【事務局】説明会については、町広報や HP で周知している。

**4　その他（進行：課長）**

(1) 今後のスケジュールについて

【事務局】6 月 25 日・27 日総合計画説明会、6 月 27 日に答申を予定している。また、20 周年の記念事業についても、多くの皆さんから参加いただきたい。

**5　閉 会**　20：45 樋渡企画情報課長（進行）